事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3010000　環境部環境政策課　　担当者
短縮番号　00291　環境政策業務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	001　豊かな自然を保全する				
施策	001　環境意識の向上を図る				
施策達成課題	001　環境意識の向上を図る				
基本事務事業	001　環境政策業務経費				
詳細事務事業	001　環境政策業務経費				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	環境基本法、環境基本条例、鳥獣の保護及び管理並狩猟の適正化に関する法律（法律施行細則、事務取扱要領）				
課題・分析	今後更新される市有施設は、カーボンニュートラルを目指す上でZEB化する必要があるが、それには各所管課の意識向上が必要である。 アライグマの防除は熊谷猟友会に継続して委託するが、頭数の増加やアライグマ以外の野生動物の出没について対応を考えていく必要がある。				

【事業分析】

対象	すべての市民、環境保全団体及び有害鳥獣捕獲許可申請者等
目的	貴重な環境を次世代に残すため、環境に係る諸問題に対する様々な取組を行う。また、暑さ対策（他課で所管するものは除く。）から自然保護や鳥獣保護行政の分野まで、環境に対する様々な事務を行う。※環境政策業務全般に係る経費
手段	環境基本計画に係る年次報告書である「環境白書」を取りまとめる。環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進する上で必要な事項を調査審議する環境審議会を開催する。壁面緑化の推進など暑さ対策、自然の保護（ホタルの保護、アライグマの防除、外来生物法の啓発）、野生鳥獣に関する事務（有害鳥獣捕獲許可等）を行う。アライグマ防除は熊谷猟友会に業務委託。ホタル発生数調査はNPOほたるを保護する会へ業務委
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	41,843	22,825	6,978	9,842	0	0	0
事業費	15,225	7,235	6,978	9,842	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	2,479	3,570	2,508	3,570	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	0	0
一般財源	12,746	3,665	4,469	6,272	0	0	0
人件費計	26,618	15,590	0	0	0	0	0
一般職員（人）	3.48	1.97	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-02-01-00-00	環境政策業務経費	環境部環境政策課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3010000　環境部環境政策課
短縮番号　00291　環境政策業務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	5
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	今後、計画される市有施設等についてはZEB化を目指すこととし、各課への環境教育を充実させる。 アライグマの防除については箱わなを増やしての駆除を継続し、個人所有の家屋への被害に対しての支援も継続（政策経費）していく。また、アライグマ以外の野生動物の出没が頻繁にみられることから、注意喚起の方法等の検討を行う。 【予算編成】アライグマに係る経費（消耗品544千円、傷害保険料62千円、手数料80千円、委託料8,104千）については、政策経費（アライグマ・ハクビシン防除事業）へ統合		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3010000　環境部環境政策課　　担当者
短縮番号　00292　環境意識啓発事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	001　豊かな自然を保全する				
施策	001　環境意識の向上を図る				
施策達成課題	001　環境意識の向上を図る				
基本事務事業	002　環境意識啓発事業				
詳細事務事業	001　環境意識啓発事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市総合振興計画、熊谷市環境基本計画				
課題・分析	【課題】 ・環境学習に関して、小学生に向けた環境教育素材の提供を検討する。 ・エコライフフェアに関して、今後コミュニティ広場が使えなくなることも見据え、情報発信の方法や展示方法等運営のあり方について検討する。				

【事業分析】

対象	小・中・高校生、団体・企業
目的	環境講座等を実施するとともに、子ども達の環境学習活動及び地域や環境団体による環境保全活動を支援することにより、環境問題への理解と環境意識の向上を図る。
手段	市・企業・団体等で組織するエコライフフェア実行委員会に対する支援を行う。また、環境教育講座、環境施設見学会、自然観察会等を実施するとともに、こどもエコクラブ活動の支援等を行う。さらにくまがや環境賞表彰を行う。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	4,061	4,294	3,490	4,555	0	0	0
事業費	772	818	982	985	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	772	818	982	985	0	0	0
人件費計	3,289	3,476	2,508	3,570	0	0	0
一般職員（人）	0.43	0.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-04-01-00-00	環境意識啓発事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3010000　環境部環境政策課
短縮番号　00292　環境意識啓発事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
環境講座等の実施回数	回	7.00 11.00	7.00 11.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
環境講座等の受講者数	人	100.00 226.00	100.00 248.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
キッズＩＳＯプログラム配布数	冊	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
回収率	%	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	エコライフフェアは環境問題の啓発ができる貴重な場であると考えているが、入場者数の減少や、今後使用できなくなるコミュニティ広場会場等、運営方法の検討が必要である。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3020000　環境部環境推進課　　担当者
短縮番号　00293　美しい街づくり推進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	001　豊かな自然を保全する				
施策	001　環境意識の向上を図る				
施策達成課題	001　環境意識の向上を図る				
基本事務事業	003　美しい街づくり推進事業				
詳細事務事業	001　美しい街づくり推進事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市路上等の喫煙及び吸殻の散乱の防止に関する条例				
課題・分析	平成１８年１０月１日の「熊谷市路上等の喫煙及び吸い殻の防止に関する条例」の施行後、路上喫煙禁止区域内において路上喫煙者及び吸い殻のポイ捨て件数は、大きく減少している。しかしながら、指定喫煙所は完全分煙が出来ておらず、指定喫煙所の可否に課題が残る。				

【事業分析】

対象	市民
目的	道路等における喫煙マナー及び環境美化意識の向上を図り、安全で、快適な歩行空間及び清潔な地域環境を確保することを目的とする。
手段	条例施行にあわせ熊谷駅及び籠原駅の周辺を路上喫煙禁止区域に指定、路面シールによる表示とともに指定喫煙場所を設置。課員による喫煙マナー指導パトロールを実施。指定喫煙所の清掃等維持管理は、シルバー人材センターへ委託。喫煙マナー啓発を推進するため、イベント主催者等に啓発用物品を貸与。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	5,133	5,982	2,877	2,877	0	0	0
事業費	2,380	2,664	2,877	2,877	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,380	2,664	2,877	2,877	0	0	0
人件費計	2,753	3,318	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.36	0.42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-12-01-00-00	美しい街づくり推進事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3020000　環境部環境推進課
短縮番号　00293　美しい街づくり推進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
路上喫煙禁止区域内の喫煙者数減少率	%	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
路上喫煙禁止区域内のポイ捨て吸殻本数減少率	%	80.00 77.80	80.00 47.80	80.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4030000　都市整備部公園緑地課　　担当者
短縮番号　01159　みどりを育む市民ふれあい事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	001　豊かな自然を保全する				
施策	001　環境意識の向上を図る				
施策達成課題	001　環境意識の向上を図る				
基本事務事業	004　みどりを育む市民ふれあい事業				
詳細事務事業	001　みどりを育む市民ふれあい事業				
事業期間	平成24年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	都市緑地法				
課題・分析	令和２年度策定「熊谷市緑の基本計画」の基本方針にある「緑あふれるまちづくりの仕組みをつくる」に基づき、市民の自発的な緑の関わりを促進し、それなりの成果はでているが、各種行事等への参加者に偏りがある。				

【事業分析】

対象	市民
目的	緑化意識の高揚を図る。
手段	市民の緑化活動へのきっかけとなる事業や普及啓発活動の推進に寄与できる取組みを行う。
その他	別府沼公園において自然観察会を開催するほか、小学生による樹名板の設置等を行う。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	7,172	5,770	1,490	1,472	0	0	0
事業費	3,348	1,820	1,490	1,472	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	45	53	0	0	0	0	0
一般財源	3,303	1,767	1,490	1,472	0	0	0
人件費計	3,824	3,950	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-05-36-01-00-00	みどりを育む市民ふれあい事業	都市整備部公園緑地課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4030000　都市整備部公園緑地課
短縮番号　01159　みどりを育む市民ふれあい事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
自然観察会等開催数	回	2.00 4.00	2.00 3.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
自然観察会等参加者数	人	200.00 56.00	200.00 48.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00
人生記念樹配布回数	回	3.00 2.00	3.00 2.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
人生記念樹等配布数	本	100.00 76.00	100.00 98.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3010000　環境部環境政策課　　担当者
短縮番号　00296　ふるさと歩道維持管理経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	001　豊かな自然を保全する				
施策	002　緑と水辺環境を保全する				
施策達成課題	001　緑と水辺環境を保全する				
基本事務事業	001　ふるさと歩道維持管理経費				
詳細事務事業	001　ふるさと歩道維持管理経費				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市環境基本計画				
課題・分析	【課題】老朽化した解説標識等の維持管理について検討が必要 【分析】ふるさと歩道の利用者が減少していることからも、事業継続の可否を検討する必要がある。				

【事業分析】

対象	すべての市民
目的	ふるさと歩道（熊谷西部史跡コース及び赤松林に歴史を訪ねるコース）附帯施設の維持管理を行い、利用者の利便性向上を図る。
手段	ふるさと歩道附帯施設維持管理の委託（除草・清掃、施設の異常の確認・報告）、ふるさと歩道休憩舎等協力者に対する謝金の支払い、ふるさと歩道休憩舎等の清掃用具の支給、水道料金の負担及び修理を行う。
その他	・ふるさと歩道附帯施設維持管理の業務委託（除草・清掃、施設の異常の確認・報告） ・ふるさと歩道休憩舎等設置協力者に対する謝金の支払い（幸安寺、龍泉寺、全昌寺、延命寺、明道寺） ・ふるさと歩道休憩舎、公衆トイレ、水飲み場の清掃用具等の支給（幸安寺、龍泉寺） ・水道料金の負担（幸安寺、龍泉寺）及び設備等の修理

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	7,156	2,871	716	733	0	0	0
事業費	5,550	659	716	733	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,550	659	716	733	0	0	0
人件費計	1,606	2,212	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.21	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-03-01-00-00	ふるさと歩道維持管理経費	環境部環境政策課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3010000　環境部環境政策課
短縮番号　00296　ふるさと歩道維持管理経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	2
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	標識の老朽化が増加している。適切な管理のための予算は必要		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3010000　環境部環境政策課　　担当者
短縮番号　00925　ムサシトミヨ保護事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	001　豊かな自然を保全する				
施策	002　緑と水辺環境を保全する				
施策達成課題	001　緑と水辺環境を保全する				
基本事務事業	004　ムサシトミヨ保護事業				
詳細事務事業	001　ムサシトミヨ保護事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	課題 ムサシトミヨの生息数が減少していること。 ムサシトミヨの生息環境が変化していること。 分析 ムサシトミヨが巣をつくる水草の減少が、生息数の減少に繋がっていると思われる。 元荒川の河川周辺環境の変化により、水量が減少し、生息環境が悪化している。				

【事業分析】

対象	ムサシトミヨ（世界で熊谷市だけに生息している希少魚）
目的	ムサシトミヨの保護・増殖及び普及・啓発を図る。
手段	生息域を学区に持つ市内3つの小中学校（久下小、佐谷田小、熊谷東中）を対象に、ムサシトミヨの保護・増殖のための業務委託を行う。ムサシトミヨが生息する河川の水質検査や文化財指定区域の草刈り等を行い、生息環境の整備を行う。熊谷市ムサシトミヨ保護センターの維持・管理を行う。その他、ムサシトミヨに関する普及・啓発を行う。冬季に水温の激減が発生したため、緊急で土のう堰を作り、水位の確保を行う。
その他	水量の確保を含め環境変化に応じて、生息域の保全対策、拡大について、元荒川の整備を検討していく必要がある。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	13,515	10,296	4,825	4,896	0	0	0
事業費	7,702	4,213	4,825	4,896	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	778	943	934	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	3	0	0	0	0
一般財源	6,924	3,270	3,888	4,896	0	0	0
人件費計	5,813	6,083	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.76	0.77	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-35-01-00-00	ムサシトミヨ保護事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3010000　環境部環境政策課
短縮番号　00925　ムサシトミヨ保護事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
増殖委託先小中学校の数	校	3.00 3.00	3.00 3.00	3.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
増殖委託事業による確認個体数	尾	650.00 532.00	650.00 373.00	650.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
保護センター見学団体	団体	20.00 3.00	20.00 4.00	20.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
保護センター見学者	人	320.00 129.00	320.00 129.00	320.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由	令和６年12月から、ムサシトミヨの生息環境が変化したため			
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	ムサシトミヨ生息環境設計事業（新規取組）を除いて現状維持		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3010000　環境部環境政策課　　担当者
短縮番号　01771　クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	001　豊かな自然を保全する				
施策	002　緑と水辺環境を保全する				
施策達成課題	001　緑と水辺環境を保全する				
基本事務事業	011　クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業				
詳細事務事業	001　クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	熊谷市環境基本計画				
課題・分析	クビアカツヤカミキリの被害が市内でも確認されており、被害木の伐採等による蔓延防止が急務となっている。しかし、個人所有の被害木に対しては所有者の対策に頼っており思うように防除が進まないのが現状である。そのため、被害木の所有者に対する補助制度を創設し、被害木の伐採や薬剤による防除を推し進め、被害拡大防止を図る。				

【事業分析】

対象	市内に樹木を有し、その樹木が特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の被害を受けている者。
目的	クビアカツヤカミキリの被害拡大を防止する。
手段	クビアカツヤカミキリの被害木の伐採、薬剤防除費用を補助する。また、クビアカツヤカミキリの成虫を駆除したものに奨励品「クマPAY」を交付する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	5,492	5,901	3,760	3,700	0	0	0
事業費	3,886	4,013	3,760	3,700	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,726	1,749	1,850	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,160	2,264	1,910	3,700	0	0	0
人件費計	1,606	1,888	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.21	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-60-01-00-00	クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3010000　環境部環境政策課
短縮番号　01771　クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
クビアカツヤカミキリ被害拡大防止補助金交付件数		50.00 99.00	90.00 99.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	1
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	事業の方向性については、クビアカ捕殺隊や腕章配布といった活動により、引き続きクビアカツヤカミキリの認知向上を目指したい。 予算については、被害拡大防止のため、伐採・薬剤の補助金に関しては毎年流用して対応している。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4030000　都市整備部公園緑地課　　担当者
短縮番号　00299　みどりの基金積立事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	001　豊かな自然を保全する				
施策	002　緑と水辺環境を保全する				
施策達成課題	001　緑と水辺環境を保全する				
基本事務事業	003　みどりの基金積立事業				
詳細事務事業	001　みどりの基金積立事業				
事業期間	平成21年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市みどりの基金条例				
課題・分析	基金の活用方法の検討を行う。				

【事業分析】

対象	基金の運用
目的	緑化を通して住環境の整備や景観の向上を図る。
手段	緑豊かで快適なまちをつくる経費の財源として「熊谷市みどりの基金」を積み立てる。
その他	令和4年3月31日　基金残高 18,484,599円 令和5年3月31日　基金残高 19,964,719円 令和6年3月31日　基金残高 19,674,814円 令和7年3月31日　基金残高 21,125,845円

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	2,509	1,609	54	15	0	0	0
事業費	2,356	1,451	54	15	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,209	1,347	53	0	0	0	0
一般財源	147	104	1	15	0	0	0
人件費計	153	158	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-05-06-01-00-00	みどりの基金積立事業	都市整備部公園緑地課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4030000　都市整備部公園緑地課
短縮番号　00299　みどりの基金積立事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3010000　環境部環境政策課　　担当者
短縮番号　00303　公害対策業務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002　生活環境を保全する				
施策	001　公害のないまちをつくる				
施策達成課題	001　公害のないまちをつくる				
基本事務事業	001　公害対策業務経費				
詳細事務事業	001　公害対策業務経費				
事業期間	令和 5年度 ～ 令和 9年度	5　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	公害紛争処理法、環境基本法				
課題・分析	公害苦情件数は平成30年度から横ばい傾向にあるが、法令等で対応できない苦情・相談が増加し解決までに時間を要する事案もあることから、規制基準に満たない苦情への対応に苦慮している。職員が相談者と発生源の仲介を行い問題の解決に向けて調整を行う。				

【事業分析】

対象	市民・工場・事業場
目的	公害苦情及び相談事案を受理し、その解決により自然・生活環境の保全を目指す。 環境基準の達成が工場等の責務であることを継続的に指導する。
手段	通報を受け速やかに現地へ赴き公害発生源を確認して対策を講じる。さらに対象者への指導等及び当事者間の仲介を行う。加えて定期的にパトロール及び立入を実施し排煙・排水、悪臭など異常がないか確認する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	10,980	384	1,065	528	0	0	0
事業費	654	384	1,065	528	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	235	256	223	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	419	128	842	528	0	0	0
人件費計	10,326	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-05-02-01-00-00	公害対策業務経費	環境部環境政策課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3010000　環境部環境政策課
短縮番号　00303　公害対策業務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
公害苦情の発生件数	件数	35.00 0.00	35.00 3.00	35.00 0.00	35.00 0.00	35.00 0.00	35.00 0.00	35.00 0.00
公害発生源への指導等及び当事者間の仲介	%	100.00 0.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
公害苦情の年度内解決率	%	95.00 0.00	95.00 33.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00
公害苦情未満の苦情・相談	件数	50.00 22.00	50.00 24.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）	予算縮小の理由 令和8年度は、備品の購入及び環境測定機器の校正を行う予定がないため。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3010000　環境部環境政策課　　担当者
短縮番号　00304　大気等検査事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002　生活環境を保全する				
施策	001　公害のないまちをつくる				
施策達成課題	001　公害のないまちをつくる				
基本事務事業	002　大気等検査事業				
詳細事務事業	001　大気等検査事業				
事業期間	令和 5年度 ～ 令和 9年度	5　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	環境基本法・大気汚染防止法・水質汚濁防止法・騒音規制法・悪臭防止法・埼玉県生活環境保全条例				
課題・分析	環境大気調査では、全地域において環境基準を達成した。河川水質調査では、環境基準を上回る項目（大腸菌数など）がある為、継続監視を行う。				

【事業分析】

対象	公害関係法令に規定する工場及び事業場
目的	大気及び水質等の環境保全
手段	工場・事業場を定期的に監視し、大気・水質等に係る規制及び指導等を行う。 環境大気・水質等に係る汚染状況を把握するため、事業ごとに環境計量証明事業者と委託契約を結び、計測分析を行う。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	51,680	20,101	24,375	25,128	0	0	0
事業費	20,626	20,101	24,375	25,128	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	20,626	20,101	24,375	25,128	0	0	0
人件費計	31,054	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	4.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-05-03-01-00-00	大気等検査事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3010000　環境部環境政策課
短縮番号　00304　大気等検査事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
大気関係事業場への立入検査	件数	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
		50.00	62.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
排出基準の達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水質関係工場等への立入検査	件数	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		109.00	99.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
排水基準の達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		90.00	95.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	5
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	予算拡大の理由 工場・事業場排水測定項目数の増加（大腸菌数）		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3020000　環境部環境推進課　　担当者
短縮番号　00306　畜犬登録等実施事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002　生活環境を保全する				
施策	001　公害のないまちをつくる				
施策達成課題	001　公害のないまちをつくる				
基本事務事業	004　畜犬登録等実施事業				
詳細事務事業	001　畜犬登録等実施事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市狂犬病予防法施行細則、狂犬病予防法、埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例				
課題・分析	課題 年々、狂犬病予防注射の接種率が低下しているため、注射頭数を増加させ、公衆衛生を向上させる必要がある。 分析 注射率低下の原因は、飼い主の狂犬病予防への意識が育成できていないものと考えるため、広報誌、Web媒体、研修会等により、飼い主への周知・啓発を促進していく。				

【事業分析】

対象	飼い犬（飼い主）
目的	犬の登録及び狂犬病予防注射の１００%実施
手段	犬の登録（鑑札の交付）、注射済票の交付、狂犬病予防集合注射の実施
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	5,183	6,003	760	761	0	0	0
事業費	594	623	760	761	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	594	623	760	761	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	4,589	5,380	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.60	0.63	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-05-01-00-00	畜犬登録等実施事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3020000　環境部環境推進課
短縮番号　00306　畜犬登録等実施事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
注射済犬頭数	頭	9,100.00 6,637.00	9,100.00 6,725.00	9,100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
注射率	%	75.00 66.15	75.00 67.02	75.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　4025000　都市整備部建築審査課　　担当者
短縮番号　01401　民間建築物アスベスト対策補助事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002　生活環境を保全する				
施策	001　公害のないまちをつくる				
施策達成課題	001　公害のないまちをつくる				
基本事務事業	005　民間建築物アスベスト対策補助事業				
詳細事務事業	001　民間建築物アスベスト対策補助事業				
事業期間	平成31年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	熊谷市民間建築物吹付けアスベスト等含有調査事業補助金交付要綱				
課題・分析					

【事業分析】

対象	用途や構造を問わず、全ての民間建築物
目的	民間建築物に施工された吹付けアスベスト等の状況を所有者に認知して頂き、除却等を促進する。
手段	民間建築物に施工された吹付けアスベスト等の含有調査に要した費用の一部を補助する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	153	158	500	500	0	0	0
事業費	0	0	500	500	0	0	0
国庫支出金	0	0	500	500	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	153	158	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.02	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-39-01-00-00	民間建築物アスベスト対策補助事業	都市整備部建築審査課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　4025000　都市整備部建築審査課
短縮番号　01401　民間建築物アスベスト対策補助事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
補助件数	件	4.00	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	5
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3020000　環境部環境推進課　　担当者
短縮番号　00309　衛生業務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002　生活環境を保全する				
施策	002　生活排水を適切に処理する				
施策達成課題	001　生活排水を適切に処理する				
基本事務事業	001　衛生業務経費				
詳細事務事業	001　衛生業務経費				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	感染症予防法　熊谷市スズメバチの巣の駆除実施要領　熊谷市あき地の環境保全に関する条例				
課題・分析	課題 あき地の苦情件数及び蜂の巣に関する問い合わせ件数は増加傾向にあることから、環境保全を促進する必要がある。 分析 適正管理を所有者に指導することにより、住民生活の安定や公衆衛生の向上を図る。				

【事業分析】

対象	市民及び事業者
目的	地区住民の衛生害虫駆除活動の援助及びあき地の適正な管理により、生活環境の保全を図る。 スズメバチの巣の駆除実施により、市民の良好な生活環境を保持、改善する。 専用水道の指導をする。 公衆浴場の経営安定化のための支援を行う。
手段	要望のある自治会への衛生害虫の駆除用機械の貸出、衛生害虫防除用薬剤購入費補助金交付。蜂の巣の調査及びスズメバチの巣駆除委託、単価契約の対象範囲を超えるものについては駆除補助金を交付する。あき地の苦情に対し所有者に適正管理を依頼する。市内に設置されている専用水道の指導をする。浴場設備の改修工事及び水質検査費用の一部を助成する。
その他	衛生害虫駆除事業の推進、蜂の巣の調査及びスズメバチの巣駆除の実施、あき地苦情処理等の生活環境保全事業、墓地・納骨堂・火葬場の経営許可

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	19,115	19,432	4,405	4,233	0	0	0
事業費	2,976	2,763	4,405	4,233	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,976	2,763	4,405	4,233	0	0	0
人件費計	16,139	16,669	0	0	0	0	0
一般職員（人）	2.11	2.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-01-02-01-00-00	衛生業務経費	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3020000　環境部環境推進課
短縮番号　00309　衛生業務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
衛生害虫防除用薬剤購入費補助金交付件数	件	15.00 7.00	15.00 5.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
あき地の適正管理依頼文書数	件	200.00 283.00	200.00 341.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
スズメバチの駆除委託件数	件	250.00 249.00	250.00 277.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	1
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3020000　環境部環境推進課　　担当者
短縮番号　00311　公衆便所維持管理経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002　生活環境を保全する				
施策	002　生活排水を適切に処理する				
施策達成課題	001　生活排水を適切に処理する				
基本事務事業	003　公衆便所維持管理経費				
詳細事務事業	001　公衆便所維持管理経費				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
課題・分析	施設の老朽化に合わせ、引き続き清掃や施設修繕等の効率的な実施に努める。 アセットマネジメントの計画に合わせ、大規模修繕を進める。				

【事業分析】

対象	高城神社境内、千形神社境内、熊谷駅南口広場、籠原駅南口広場、和田川上流、籠原駅ビル公衆便所
目的	公衆便所の利用時に、安全・安心で不快感のない清潔な状態で使用できるようにする公衆便所の維持管理
手段	委託による公衆便所の維持管理　公衆便所の修繕、改修工事
その他	公衆便所の清掃、修繕、障害者用自動ドアの保守点検等の維持管理を行うことにより、安全・安心で不快感のない清潔な状況で公衆便所を利用してもらう。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	10,722	9,524	7,571	8,131	0	0	0
事業費	7,204	7,154	7,571	8,131	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,204	7,154	7,571	8,131	0	0	0
人件費計	3,518	2,370	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.46	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-01-03-01-00-00	公衆便所維持管理経費	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3020000　環境部環境推進課
短縮番号　00311　公衆便所維持管理経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
苦情件数の減少件数	回	10.00 △12.00	10.00 △1.00	10.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
使用者からの苦情件数	件	10.00 19.00	10.00 20.00	10.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3020000　環境部環境推進課　　担当者
短縮番号　00312　汚水対策事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002　生活環境を保全する				
施策	002　生活排水を適切に処理する				
施策達成課題	001　生活排水を適切に処理する				
基本事務事業	004　汚水対策事業				
詳細事務事業	001　汚水対策事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	浄化槽設置整備事業実施要綱、埼玉県浄化槽整備事業補助金交付要綱				
課題・分析	合併処理浄化槽整備率は増加傾向にある。				

【事業分析】

対象	下水道事業計画区域外世帯、農業集落排水事業計画区域外世帯（合併処理浄化槽整備設置補助対象区域）
目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため
手段	単独処理浄化槽及び汲取り便槽から合併処理浄化槽へ転換を促進するため、補助を行う。
その他	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、住みよい生活環境をつくる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	29,598	32,355	26,980	30,878	0	0	0
事業費	23,020	22,954	26,980	30,878	0	0	0
国庫支出金	11,119	10,958	12,770	14,519	0	0	0
県支出金	7,800	7,900	9,400	10,900	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,101	4,096	4,810	5,459	0	0	0
人件費計	6,578	9,401	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.86	1.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-01-04-01-00-00	汚水対策事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3020000　環境部環境推進課
短縮番号　00312　汚水対策事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
合併処理浄化槽設置整備補助基数	基	36.00 39.00	38.00 38.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
合併処理浄化槽の整備率	%	54.30 54.30	54.60 55.50	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3020000　環境部環境推進課　　担当者
短縮番号　00314　し尿汲取事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002　生活環境を保全する				
施策	002　生活排水を適切に処理する				
施策達成課題	001　生活排水を適切に処理する				
基本事務事業	006　し尿汲取事業				
詳細事務事業	001　し尿汲取事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
課題・分析	合併処理浄化槽の整備などに伴い、汲み取り世帯数は減少傾向にあるが、家庭や事業所、公衆施設や市主催行事に使用する仮設便所、または災害時雨入等による緊急汲み取りなど、将来的にし尿の排出が見込まれる。				

【事業分析】

対象	家庭や事業所のし尿汲取世帯及び公共施設
目的	し尿の衛生的処理につとめ、生活環境保全による快適な生活の維持を図る
手段	市内９業者に、し尿汲取収集・運搬業務を許可
その他	家庭等から排出されるし尿を適正に処理するため、市内９業者にし尿汲取収集・運搬業務を許可及び委託。し尿汲取業務の円滑な推進と水環境に対する市民意識の高揚を図るため、熊谷市環境衛生協議会に対し、助成を行う

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	5,326	7,712	2,091	2,163	0	0	0
事業費	1,731	1,787	2,091	2,163	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	100	0	100	0	0	0	0
一般財源	1,631	1,787	1,991	2,163	0	0	0
人件費計	3,595	5,925	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.47	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-03-02-01-00-00	し尿汲取事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3020000　環境部環境推進課
短縮番号　00314　し尿汲取事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
委託分汲み取り本数	本	2,000.00	2,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1,367.00	1,691.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
し尿処理量	㎥	19,800.00	19,800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		18,446.00	18,951.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3020000　環境部環境推進課　　担当者
短縮番号　00983　合併処理浄化槽維持管理費補助事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002　生活環境を保全する				
施策	002　生活排水を適切に処理する				
施策達成課題	001　生活排水を適切に処理する				
基本事務事業	013　合併処理浄化槽維持管理費補助事業				
詳細事務事業	001　合併処理浄化槽維持管理費補助事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	浄化槽法第７条第１項、第１０条第１項、第１１条第１項				
課題・分析	法定検査受検率（１１条）は年々増加し、創設年度（平成２２年度）と比較すると、29.9ポイント上昇した。着実に成果を上げている。				

【事業分析】

対象	公共下水道供用開始区域及び農業集落排水処理開始区域を除いた区域に設置された居住用合併処理浄化槽（10人槽以下）管理者
目的	合併処理浄化槽維持管理費補助金を交付することにより、合併処理浄化槽の適正な管理の促進を図る。
手段	公共下水道供用開始区域及び農業集落排水処理開始区域を除いた区域に設置された居住用合併処理浄化槽（10人槽以下）管理者に対して、浄化槽法第7条第1項（新設）又は第11条第1項（毎年）の検査を受検し、同法第10条第1項に規定する保守点検及び清掃を実施していることを支給条件に人槽別に合併処理浄化槽維持管理費補助金を交付する。
その他	補助対象区域内の居住用合併処理浄化槽（10人槽以下）管理者に対して、浄化槽法第7条第1項又は第11条第1項の検査を受検し、同法第10条第１項に規定する保守点検及び清掃を実施していることを支給条件に人槽別に合併処理浄化槽維持管理費補助金を交付する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	57,789	55,812	43,900	41,328	0	0	0
事業費	47,876	43,708	43,900	41,328	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	15,260	13,197	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	32,616	30,511	43,900	41,328	0	0	0
人件費計	9,913	12,104	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	1.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-01-09-01-00-00	合併処理浄化槽維持管理費補助事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3020000　環境部環境推進課
短縮番号　00983　合併処理浄化槽維持管理費補助事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
浄化槽法第７条実施率（法定検査受検率）	%	91.60 100.00	92.50 92.20	93.40 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
補助件数	件	3,313.00 3,027.00	2,914.00 2,766.00	2,747.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
浄化槽法第１１条実施率（法定検査受検率）	%	62.40 63.00	63.00 63.30	64.60 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	制度開始当初の申請者の申請期間が終了したことによる減額		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3020000　環境部環境推進課　　担当者
短縮番号　01912　汚泥再生処理センター整備事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002　生活環境を保全する				
施策	002　生活排水を適切に処理する				
施策達成課題	001　生活排水を適切に処理する				
基本事務事業	020　汚泥再生処理センター整備事業				
詳細事務事業	001　汚泥再生処理センター整備事業				
事業期間	令和 3年度 ～ 令和12年度	10　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
課題・分析	令和３年度策定の「循環型社会形成推進地域計画」に基づき、施設整備に必要な業務を進めていく。 令和４年度は、「汚泥再生処理センター施設整備基本計画」の策定と「生活環境影響調査業務（環境アセスメント）」を実施。 令和５年度は、用地測量調査、ボーリング・埋設物調査業務を実施。 令和６年度は、し尿等性状調査、土地履歴等調査・土壌状況調査業務を委託した。				

【事業分析】

対象	汚泥再生処理センター（第一水光園の更新施設）
目的	「汚泥再生処理センター」を整備することにより、し尿・浄化槽汚泥処理の安定を図り、併せて汚泥の助燃剤への資源化により、循環型社会形成推進を実現する。
手段	令和７～８年度は、発注書等作成等の「発注支援業務」を予定している。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	17,032	20,166	15,000	9,918	0	0	0
事業費	13,208	18,586	15,000	9,918	0	0	0
国庫支出金	2,985	5,496	5,000	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,223	13,090	10,000	9,918	0	0	0
人件費計	3,824	1,580	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.50	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-03-04-01-00-00	汚泥再生処理センター整備事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3020000　環境部環境推進課
短縮番号　01912　汚泥再生処理センター整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3021000　環境部環境推進課第一水光園　　担当者
短縮番号　00316　第一水光園管理運営経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002　生活環境を保全する				
施策	002　生活排水を適切に処理する				
施策達成課題	001　生活排水を適切に処理する				
基本事務事業	008　第一水光園管理運営経費				
詳細事務事業	001　第一水光園管理運営経費				
事業期間	平成27年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、熊谷市第一水光園の設置及び管理に関する条例				
課題・分析	施設全体が老朽化しており、多くの修繕等を要する状況にあるが、点検整備及び修繕等を計画的かつ効率的に行うことにより、安定したし尿処理を行うことができた。				

【事業分析】

対象	搬入されるし尿と浄化槽汚泥
目的	し尿と浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境の保全や公衆衛生の向上に努める
手段	し尿処理施設の適正な運転、水質等の測定分析、機械整備、維持管理、修繕
その他	令和12年度に新設された（仮称）汚泥再生処理センターが稼働開始します。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	190,593	197,142	139,771	166,066	0	0	0
事業費	122,542	126,436	139,771	166,066	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	4,986	4,822	5,097	5,423	0	0	0
一般財源	117,556	121,614	134,674	160,643	0	0	0
人件費計	68,051	70,706	0	0	0	0	0
一般職員（人）	8.66	8.74	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.80	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-04-02-01-00-00	第一水光園管理運営経費	環境部環境推進課第一水光園

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3021000　環境部環境推進課第一水光園
短縮番号　00316　第一水光園管理運営経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
年間搬入量	kℓ	57,476.00	57,476.00	57,476.00	57,476.00	0.00	0.00	0.00
		53,055.60	52,915.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	施設の運転開始から40年以上が経過していることから、経年劣化による不具合や設備の故障が数多く発生したが、緊急度や優先度を考慮しながら適切な修繕を行いつつ、安定的な施設の運転を行った。 第一水光園、荒川南部環境センター、妻沼南河原環境浄化センターの3施設の機能を集約した（仮称）汚泥再生処理センターの令和12年度の稼働が予定されていることから、現行施設の稼働停止のリスク回避を第一優先としつつも、施設の廃止を見据えた柔軟かつ適切な修繕を行い、引き続き安定した施設の稼働を目指す。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3021000　環境部環境推進課第一水光園　　担当者
短縮番号　00317　荒川南部環境センター管理運営経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002　生活環境を保全する				
施策	002　生活排水を適切に処理する				
施策達成課題	001　生活排水を適切に処理する				
基本事務事業	009　荒川南部環境センター管理運営経費				
詳細事務事業	001　荒川南部環境センター管理運営経費				
事業期間	平成20年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、熊谷市立荒川南部環境センターの設置及び管理に関する条例				
課題・分析	・施設の点検整備及び修繕等を計画的かつ効率的に行うことにより、安定した処理を行うことができた。 ・平成２９年４月より運転管理業務を民間企業へ委託している。				

【事業分析】

対象	搬入されるし尿と浄化槽汚泥
目的	し尿と浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境の保全や公衆衛生の向上に努める。
手段	し尿処理施設の適正な運転、水質基準等の測定、機械整備、維持管理
その他	この施設は平成１７年度に供用を開始した。今後他２施設の耐用年限等を考慮し、施設の集約化を図る必要がある。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	107,513	124,789	121,185	138,754	0	0	0
事業費	107,513	111,359	121,185	138,754	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1,681	0	0	0
一般財源	107,513	111,359	121,185	137,073	0	0	0
人件費計	0	13,430	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	1.63	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-05-02-01-00-00	荒川南部環境センター管理運営経費	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3021000　環境部環境推進課第一水光園
短縮番号　00317　荒川南部環境センター管理運営経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
年間搬入量	kℓ	12,000.00 12,377.16	12,000.00 12,690.62	12,000.00 0.00	12,000.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	施設の運転開始から21年が経過していることから、経年劣化による不具合や設備の故障が数多く発生したが、緊急度や優先度を考慮しながら適切な修繕を行いつつ、安定的な施設の運転を行った。 荒川南部環境センター、第一水光園、妻沼南河原環境浄化センターの3施設の機能を集約した（仮称）汚泥再生処理センターの令和12年度の稼働が予定されていることから、現行施設の稼働停止のリスク回避を第一優先としつつも、施設の廃止を見据えた柔軟かつ適切な修繕を行い、引き続き安定した施設の稼働を目指す。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3021000　環境部環境推進課第一水光園　　担当者
短縮番号　01602　妻沼南河原環境浄化センター運営経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	002　生活環境を保全する				
施策	002　生活排水を適切に処理する				
施策達成課題	001　生活排水を適切に処理する				
基本事務事業	015　妻沼南河原環境浄化センター運営経費				
詳細事務事業	001　妻沼南河原環境浄化センター運営経費				
事業期間	平成30年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
課題・分析	妻沼南河原環境施設組合が平成29年度末で解散し、平成30年度から熊谷市単独で施設を運営する。 施設の経年に伴い、今後、施設補修費の増加が見込まれるため、維持管理の効率的な実施に努める。				

【事業分析】

対象	市民
目的	し尿と浄化槽汚泥を適正に処理する。
手段	施設の運営・維持管理を行う。
その他	平成29年度末で妻沼南河原環境施設組合が解散し、平成30年度より熊谷市単独で施設を運営することとなった。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	95,601	107,405	115,716	114,206	0	0	0
事業費	90,633	101,875	115,716	114,206	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1,460	0	0	0
一般財源	90,633	101,875	115,716	112,746	0	0	0
人件費計	4,968	5,530	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.62	0.63	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.10	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-06-02-01-00-00	妻沼南河原環境浄化センター管理運営経費	環境部環境推進課第一水光園

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3021000　環境部環境推進課第一水光園
短縮番号　01602　妻沼南河原環境浄化センター運営経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
年間搬入量	kℓ	11,200.00 10,398.82	11,200.00 10,119.74	11,200.00 0.00	11,200.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）	施設の運転開始から27年が経過していることから、経年劣化による不具合や設備の故障が数多く発生したが、緊急度や優先度を考慮しながら適切な修繕を行いつつ、安定的な施設の運転を行った。 妻沼南河原環境浄化センター、第一水光園、荒川南部環境センターの3施設の機能を集約した（仮称）汚泥再生処理センターの令和12年度の稼働が予定されていることから、現行施設の稼働停止のリスク回避を第一優先としつつも、施設の廃止を見据えた柔軟かつ適切な修繕を行い、引き続き安定した施設の稼働を目指す。		

【２次評価結果】

事業の方向性	期間変更	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3020000　環境部環境推進課　　担当者
短縮番号　00324　環境美化推進員充実事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	003　ごみの発生を抑制し、再利用を促進する				
施策	001　５Ｒを推進する				
施策達成課題	001　５Ｒを推進する				
基本事務事業	001　環境美化推進員充実事業				
詳細事務事業	001　環境美化推進員充実事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市環境美化推進員設置要綱				
課題・分析	指数は、環境美化推進員の研修参加者数であり概ね目標値を達成しているが、参加者率の向上に課題が残る。				

【事業分析】

対象	環境美化推進員
目的	住みよい美しい街づくりと快適な生活環境を保全することを目的とする。
手段	各自治会から推薦された方を環境美化推進員として委嘱し、地域の環境美化（ごみ分別の徹底・ごみ減量・リサイクル）推進を支援する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	6,220	7,259	3,297	3,113	0	0	0
事業費	3,084	2,914	3,297	3,113	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,084	2,914	3,297	3,113	0	0	0
人件費計	3,136	4,345	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.41	0.55	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-06-01-00-00	環境美化推進員充実事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3020000　環境部環境推進課
短縮番号　00324　環境美化推進員充実事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
環境美化推進員研修会の開催	回	1.00 1.00	1.00 1.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
環境美化推進員研修会の参加者数	人	310.00 272.00	310.00 284.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準			ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる		2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
	理由					

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3020000　環境部環境推進課　　担当者
短縮番号　00326　大里広域市町村圏組合負担事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	003　ごみの発生を抑制し、再利用を促進する				
施策	001　５Ｒを推進する				
施策達成課題	001　５Ｒを推進する				
基本事務事業	002　大里広域市町村圏組合負担事業				
詳細事務事業	001　大里広域市町村圏組合負担事業				
事業期間	平成20年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	大里広域市町村圏組合規約				
課題・分析	平成２５年度より長寿命化施設整備事業費負担金を支出している。 令和３年度から、新ごみ処理施設整備に係る負担金を支出する。				

【事業分析】

対象	熊谷衛生センター・江南清掃センター及び大里広域クリーンセンター 新ごみ処理施設
目的	大里広域市町村圏組合の構成市町から排出される可燃ごみ、不燃ごみを処理する。ごみを広域処理することにより、ダイオキシン類の排出量の削減、ごみ処理経費削減、ごみの減量化、リサイクルの推進等により最終処分場の延命化を図る。
手段	焼却施設の整備費、管理運営費及び大里広域クリーンセンターの運営費を構成市町で負担する。平成２４年度から焼却施設の長寿命化計画を実施する。 令和３年度から、新ごみ処理施設整備に向けた事業を実施していたが、令和７年４月から新ごみ処理施設整備事業が各市町へ承継された。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	1,864,406	1,677,479	1,728,550	1,728,550	0	0	0
事業費	1,856,757	1,667,209	1,728,550	1,728,550	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	398,323	417,886	417,900	0	0	0	0
一般財源	1,458,434	1,249,323	1,310,650	1,728,550	0	0	0
人件費計	7,649	10,270	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	1.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-01-05-01-00-00	大里広域市町村圏組合負担事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3020000　環境部環境推進課
短縮番号　00326　大里広域市町村圏組合負担事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準			ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる		2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
	理由					

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3020000　環境部環境推進課　　担当者
短縮番号　00330　ごみ減量対策事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	003　ごみの発生を抑制し、再利用を促進する				
施策	001　５Ｒを推進する				
施策達成課題	001　５Ｒを推進する				
基本事務事業	005　ごみ減量対策事業				
詳細事務事業	001　ごみ減量対策事業				
事業期間	平成20年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律　循環型社会形成推進基本法　資源有効利用促進法				
課題・分析	5R等のごみ削減に資する施策の浸透が薄く、ごみ減量（市民1人1日当たりのごみ排出量）等が目標値に届いていないことが課題である、今後は食品ロスや事業系一般廃棄物の削減等新たな取組を展開していく。				

【事業分析】

対象	市民・ＮＰＯ法人
目的	5R（リフューズ・リデュース・リユース・リペア・リサイクル）を基本とする循環型社会の構築。
手段	生ごみ処理容器等の購入費補助、生ごみ再資源化の業務委託、ごみ減量の啓発（マイボトルの使用他）等
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	4,587	13,440	5,522	5,723	0	0	0
事業費	4,587	5,303	5,522	5,723	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	63	72	0	0	0	0
一般財源	4,587	5,240	5,450	5,723	0	0	0
人件費計	0	8,137	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	1.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-05-01-00-00	ごみ減量対策事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3020000　環境部環境推進課
短縮番号　00330　ごみ減量対策事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
生ごみ処理容器購入補助対象数	基	150.00 113.00	150.00 132.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
マイバックを利用している市民の割合	%	62.00 82.00	62.00 83.40	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
市民一人一日あたりのごみ排出量	g	1,038.00 1,025.00	1,028.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
資源物回収率	%	24.20 20.10	24.40 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3020000　環境部環境推進課　　担当者
短縮番号　00331　リサイクル活動推進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	003　ごみの発生を抑制し、再利用を促進する				
施策	001　５Ｒを推進する				
施策達成課題	001　５Ｒを推進する				
基本事務事業	006　リサイクル活動推進事業				
詳細事務事業	001　リサイクル活動推進事業				
事業期間	平成20年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市リサイクル活動推進奨励金交付要綱				
課題・分析	新型コロナウイルスの蔓延による集団活動の自粛の影響を受けて、回収量が減少していることが課題である。				

【事業分析】

対象	日常生活から排出される廃棄物のうち、再利用できる資源を集団回収し、かつ市内に住所を有し営利を目的としない団体
目的	資源再利用の推進及びごみ減量化を図り、もって、生活環境の保全に資することを目的とする。
手段	廃棄物を資源として回収する団体に対し、（紙類・金属類・布類・ビン類・廃食用油、家庭系生ごみ）１（ｋｇ・ℓ）あたり３円の奨励金を交付する。（平成２８年９月までは４円）
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	6,499	8,749	7,000	7,000	0	0	0
事業費	5,276	4,799	7,000	7,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,276	4,799	7,000	7,000	0	0	0
人件費計	1,223	3,950	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.16	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-06-01-00-00	リサイクル活動推進事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3020000　環境部環境推進課
短縮番号　00331　リサイクル活動推進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
実施団体数	件	200.00 164.00	200.00 156.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
回収量	t	3,000.00 1,755.60	3,000.00 1,599.29	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3020000　環境部環境推進課　　担当者
短縮番号　00333　廃棄物対策事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	003　ごみの発生を抑制し、再利用を促進する				
施策	001　５Ｒを推進する				
施策達成課題	001　５Ｒを推進する				
基本事務事業	008　廃棄物対策事業				
詳細事務事業	001　廃棄物対策事業				
事業期間	平成20年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律　熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
課題・分析	評価指数である不法投棄の苦情処理件数増えており、不法投棄自体は後を絶たないことが課題である。				

【事業分析】

対象	市民
目的	住みよい住環境を保全するため不法投棄の監視と、事案への対応を行う。一般廃棄物を適正に処理するため、処理業者に対する収集運搬・処分の許可事務を行う。また、一般廃棄物を効率よく処理し、ごみ減量とリサイクルの推進により循環型社会を構築する。
手段	事業系一般廃棄物を適正に処理するため、収集運搬業者へ許可を付与し、公衆衛生や環境の保全を図る。廃棄物の不法投棄を未然防止し、快適な生活環境を維持する。県と連携し産業廃棄物の山を監視することにより、不法投棄廃棄物の増加や早期発見、未然防止を図る。一般廃棄物を円滑に処理するため、実施計画等を策定する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	13,233	23,443	5,693	893	0	0	0
事業費	613	8,354	5,693	893	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	355	0	350	0	0	0	0
一般財源	258	8,354	5,343	893	0	0	0
人件費計	12,620	15,089	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.65	1.91	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-08-01-00-00	廃棄物対策事業	環境部環境推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3020000　環境部環境推進課
短縮番号　00333　廃棄物対策事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
不法投棄の苦情処理件数	件	50.00 44.00	50.00 75.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
不法投棄監視パトロール数	回	12.00 12.00	12.00 12.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3040000　環境部環境美化センター　　担当者
短縮番号　00327　塵芥収集業務経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	003　ごみの発生を抑制し、再利用を促進する				
施策	001　５Ｒを推進する				
施策達成課題	001　５Ｒを推進する				
基本事務事業	003　塵芥収集業務経費				
詳細事務事業	001　塵芥収集業務経費				
事業期間	平成27年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
課題・分析	塵芥収集量・有害ごみの収集量は、ほぼ横ばい。 ハートフル収集対象者は微増、有料リクエスト収集申請は増加傾向。 経年劣化による施設及び塵芥収集車両の故障への対応が課題となる。				

【事業分析】

対象	市民
目的	市民の生活から発生するごみを、公衆衛生や生活環境の保全上支障が生じないように収集し、熊谷市一般廃棄物最終処分場、熊谷衛生センター、江南清掃センター及び大里広域クリーンセンターに運搬する。 ごみ集積所までごみを運べない高齢者及び障害者のごみを収集する。
手段	市内を直営と委託の収集に分けて収集。ごみ出しが不可能な高齢者及び障害者宅を戸別訪問してごみを収集する（ハートフル収集）集積所まで運ぶのが困難な大型家具類や粗大ごみを、申込者宅の玄関先から有料で収集を行う（有料リクエスト収集）スマートフォン等を活用しごみの収集日や分別方法などの情報提供をする（ごみ分別アプリ）幼少期からごみの分別やリサイクルについて関心を持ってもらうため出前講座を行う（エコスクール）
その他	可燃ごみ（週２回）／粗大ごみ、紙資源物（週１回）／燃えないもの（４種類を順番に４週に１回）：／有害ごみ（随時拠点回収）／ペットボトルエコステーション（随時拠点回収）／ハートフル収集（単身高齢者等の戸別収集）／有料リクエスト収集（大型ごみの戸別収集）／ごみ分別アプリ（常時）／エコスクール（随時）

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	618,485	658,415	460,486	478,601	0	0	0
事業費	347,283	406,797	460,486	478,601	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	17,693	16,935	16,231	0	0	0	0
一般財源	329,590	389,862	444,255	478,601	0	0	0
人件費計	271,202	251,618	0	0	0	0	0
一般職員（人）	35.16	31.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-02-01-00-00	塵芥収集業務経費	環境部環境美化センター

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3040000　環境部環境美化センター
短縮番号　00327　塵芥収集業務経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
塵芥収集量	t	46,894.00 45,423.03	0.00 45,276.74	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
ハートフル収集対象者人数	人	240.00 291.00	240.00 275.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
有害ごみ収集量	kg	82,000.00 71,615.00	82,000.00 67,503.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3040000　環境部環境美化センター　　担当者
短縮番号　00329　一般廃棄物最終処分場維持管理経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	003　ごみの発生を抑制し、再利用を促進する				
施策	001　５Ｒを推進する				
施策達成課題	001　５Ｒを推進する				
基本事務事業	004　一般廃棄物最終処分場維持管理経費				
詳細事務事業	001　一般廃棄物最終処分場維持管理経費				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
課題・分析	搬入資格及び搬入品目の適正化を実施したことにより長期的に見て不燃物受入量が減少傾向にある。 最終処分場施設維持管理業務委託による機器点検を踏まえ、最低減の修繕を行いながら将来の大規模修繕及び施設更新の検討を始める必要がある。				

【事業分析】

対象	最終処分場の維持管理
目的	一般廃棄物最終処分場に搬入された廃棄物を適正に処理する。 （汚水処理、不燃物の受入れ、焼却残さ等の埋立）
手段	（１）浸出水処理施設による汚水処理。（プラント建設業者である日立プラント建設（株）に業務委託） （２）自己搬入による不燃物の受入れ及び大里広域市町村圏組合クリーンセンターへの搬送。（一部業務委託（委託先同上）） （３）埋立施設への埋立処分。（直営）
その他	月曜日～金曜日及び12月29日、30日、午前9時から正午まで、午後1時から午後4時まで開場 （1）不燃物①家庭1円／ｋｇ、②事業20円／ｋｇ（2）浸出水500円／ｔ、焼却残さ21,000円／ｔ

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	45,281	51,169	52,118	43,746	0	0	0
事業費	28,377	31,261	52,118	43,746	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,403	2,998	2,506	0	0	0	0
一般財源	24,974	28,263	49,612	43,746	0	0	0
人件費計	16,904	19,908	0	0	0	0	0
一般職員（人）	2.21	2.52	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-04-01-00-00	一般廃棄物最終処分場維持管理経費	環境部環境美化センター

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3040000　環境部環境美化センター
短縮番号　00329　一般廃棄物最終処分場維持管理経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
不燃物受入れ量	kg	646,414.00 555,790.00	0.00 497,450.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3040000　環境部環境美化センター　　担当者
短縮番号　00332　リサイクルフェア事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	003　ごみの発生を抑制し、再利用を促進する				
施策	001　５Ｒを推進する				
施策達成課題	001　５Ｒを推進する				
基本事務事業	007　リサイクルフェア事業				
詳細事務事業	001　リサイクルフェア事業				
事業期間	平成27年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例・廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
課題・分析	リサイクルフェアの来場者数は、会場の広さや駐車場の問題、リサイクル品の回収量等を考慮すると数の増加に限界がある。新型コロナウイルス感染症対策が必要なことから、ウェブ応募等による抽選販売を行った。				

【事業分析】

対象	市民
目的	ごみの減量化、資源消費の抑制、ごみの再利用・分別等の意識の向上を図る。
手段	ごみとして排出された利用可能なものを修繕し、安価にて展示販売する。
その他	例年は春と秋に開催（自転車、家具、衣類、古本等の展示販売）するが、コロナ禍以降、春、秋ともにウェブ応募等による抽選販売により、春は自転車20点他を販売、秋は自転車15点他を販売した。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	3,697	3,748	120	70	0	0	0
事業費	102	35	120	70	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	102	35	120	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	70	0	0	0
人件費計	3,595	3,713	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.47	0.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-07-01-00-00	リサイクルフェア事業	環境部環境美化センター

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3040000　環境部環境美化センター
短縮番号　00332　リサイクルフェア事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
リサイクルフェアの開催	回	2.00 2.00	0.00 2.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
リサイクルフェア来場者数	人	2,500.00 92.00	0.00 78.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3010000　環境部環境政策課　　担当者
短縮番号　02165　省エネ家電普及促進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	004　地球温暖化対策を推進する				
施策	001　ゼロカーボンシティ宣言を着実に推進する				
施策達成課題	001　ゼロカーボンシティ宣言を着実に推進する				
基本事務事業	018　省エネ家電普及促進事業				
詳細事務事業	001　省エネ家電普及促進事業				
事業期間	令和 6年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	第２次熊谷市環境基本計画				
課題・分析	①課題 省エネ性能が高い家電については、販売価格が高くなり、市民が購入しにくい状況がある。 ②分析 現在は省エネ性能が☆３以上の家電を補助金の対象としているが、省エネ性能が☆４以上の家電を補助対象とすることも検討する必要がある。また、その際には補助金額を増額することについても検討をする必要がある。				

【事業分析】

対象	市内の家電量販店等において、省エネルギーラベルが星3以上のエアコン、冷蔵庫または冷凍庫を購入した者
目的	地球温暖化の防止及びヒートアイランド対策を図るため、並びに市民の暑さ対策に資するため。
手段	１万円をクマPAYにて交付する。
その他	令和６年度からは、補助対象機器にエアコンを追加している。また、補助金の交付方法は地域電子マネー「クマPAY」での交付に変更している。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	3,955	9,921	5,000	5,000	0	0	0
事業費	2,120	5,010	5,000	5,000	0	0	0
国庫支出金	399	4,100	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,721	910	5,000	5,000	0	0	0
人件費計	1,835	4,911	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.24	0.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.49	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-67-01-00-00	省エネ家電普及促進事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3010000　環境部環境政策課
短縮番号　02165　省エネ家電普及促進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
補助金交付件数	件	200.00 212.00	500.00 501.00	500.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3010000　環境部環境政策課　　担当者
短縮番号　01308　スマートハウス補助事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	004　地球温暖化対策を推進する				
施策	002　再生可能エネルギー施策を推進する				
施策達成課題	001　再生可能エネルギー施策を推進する				
基本事務事業	001　スマートハウス補助事業				
詳細事務事業	001　スマートハウス補助事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定外事務		
根拠法令等	第2次熊谷市総合振興計画後期基本計画、第2次熊谷市環境基本計画、スマートハウス補助金交付要綱				
課題・分析	別府Mスマートシティの申請が終息した。今後は、国内情勢や国の方向性を見極めつつ、新堀地区スマートエコタウンを見据えた熊谷市「スマートハウス」の概要を決定し、補助事業としての補助対象を変更していく必要がある。				

【事業分析】

対象	市内において「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」「エネルギーの見える化」設備等を備えたスマートハウスを新築又は購入した市民
目的	エネルギーを地産地消するまちづくりを市内全域において推進し、地球温暖化対策に資することを目的とする。
手段	「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」「エネルギーの見える化」設備等を備えたスマートハウスを新築又は購入した市民に対し一律30万円（令和2年度以前は50万円）を補助する。（うち15万円分（令和2年度以前は25万円分）を地域電子マネー「クマPAY」で交付する。）桜町モデルハウスを購入した場合には、一律100万円を補助する。（うち25万円は地域電子マネー「クマPAY」で交付する。）
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	10,541	10,200	15,740	15,740	0	0	0
事業費	8,400	10,200	15,740	15,740	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,000	3,000	3,000	3,000	0	0	0
一般財源	5,400	7,200	12,740	12,740	0	0	0
人件費計	2,141	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.28	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-48-01-00-00	スマートハウス補助事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3010000　環境部環境政策課
短縮番号　01308　スマートハウス補助事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
補助金交付件数	件	50.00 28.00	36.00 34.00	50.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	令和６年度に桜町モデルハウスを４棟建築したが、令和６年度中にスマートハウス補助金の申請ができず、令和７年度以降にずれ込んでしまった。令和７年度においても４棟すべてが売り切れない可能性もあり、令和８年度以降も桜町モデルハウス購入の後押しとなる補助金制度を維持する必要がある。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3010000　環境部環境政策課　　担当者
短縮番号　01309　電気自動車等充電設備普及事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	004　地球温暖化対策を推進する				
施策	002　再生可能エネルギー施策を推進する				
施策達成課題	001　再生可能エネルギー施策を推進する				
基本事務事業	002　電気自動車等充電設備普及事業				
詳細事務事業	001　電気自動車等充電設備普及事業				
事業期間	平成26年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	第2次熊谷市総合振興計画後期基本計画、第2次熊谷市環境基本計画、熊谷市電気自動車等充電設備設置費補助				
課題・分析	補助金交付件数についてR3年度に1件、その他の年度は0件であるが、国が電気自動車や設備の普及を推進しており、今後は充電設備の需要が高まるものと思われる。				

【事業分析】

対象	市内事業者等で国の補助金を受けて充電設備を設置した者
目的	電気自動車（ＥＶ車）やプラグインハイブリッド車（ＰＨＶ車）に必要な充電設備を設置し、ＥＶやＰＨＶの更なる普及を促進させ、地球温暖化対策を推進する。
手段	公共施設に設置した充電設備の維持管理を行うほか、市内事業者等で国の補助金を受けて充電設備を設置した場合、費用の一部を補助する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	2,139	2,025	1,710	1,776	0	0	0
事業費	457	497	1,710	1,776	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	29	0	0	0	0
一般財源	457	497	1,681	1,776	0	0	0
人件費計	1,682	1,528	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.22	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-46-01-00-00	急速充電設備設置事業	環境部環境政策課
01-04-01-03-49-01-00-00	電気自動車等充電設備普及事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3010000　環境部環境政策課
短縮番号　01309　電気自動車等充電設備普及事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
急速充電設備使用回数（月）	回	100.00 107.00	100.00 195.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
急速充電設備設置箇所	箇所	2.00 1.00	2.00 1.00	2.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3010000　環境部環境政策課　　担当者
短縮番号　00939　「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	004　地球温暖化対策を推進する				
施策	002　再生可能エネルギー施策を推進する				
施策達成課題	001　再生可能エネルギー施策を推進する				
基本事務事業	004　「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業				
詳細事務事業	001　「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置費補助金要綱				
課題・分析	太陽光発電システムは、設備の普及及び売電価格の下落に伴い設置数に増減が見られたが、設置費用の低価格化等により近年は増加している。また、平成２１年１１月に始まったＦＩＴ制度（固定価格買取制度）の期間満了に伴い、余剰売電から自家消費に切り替える家庭が多く、蓄電システムの設置数が非常に増えている。				

【事業分析】

対象	太陽光発電システムを新たに設置した市民・事業者 燃料電池コージェネレーションシステム（エネファーム）、太陽熱利用システム、家庭用蓄電池を設置した市民
目的	CO2の削減により地球温暖化防止に寄与する。
手段	太陽光発電システム、燃料電池コージェネレーションシステム、太陽熱利用システム、家庭用蓄電池を設置する 市民等に対して補助金を交付する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	28,289	28,071	25,250	25,271	0	0	0
事業費	24,802	25,336	25,250	25,271	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	24,802	25,336	25,250	25,271	0	0	0
人件費計	3,487	2,735	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.43	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-44-01-00-00	「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3010000　環境部環境政策課
短縮番号　00939　「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
太陽光発電システム補助金交付件数	件	300.00 178.00	300.00 187.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
家庭用燃料電池システム（エネファーム）補助金交付件数	件	60.00 21.00	60.00 14.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	昨今の電気代の高騰により、太陽光発電システムと蓄電池の設置に関する問い合わせが増えている傾向にあるが、令和６年度の予算執行状況を鑑み、事業・予算の方向性としては現状維持とする。ただし、令和８年度からは、事業者向けの太陽光発電システムについては補助しないこととしたい。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3010000　環境部環境政策課　　担当者
短縮番号　01674　「温暖化対策」電気自動車充給電設備普及推進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	004　環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	004　地球温暖化対策を推進する				
施策	002　再生可能エネルギー施策を推進する				
施策達成課題	001　再生可能エネルギー施策を推進する				
基本事務事業	008　「温暖化対策」電気自動車充給電設備普及推進事業				
詳細事務事業	001　「温暖化対策」電気自動車充給電設備普及推進事業				
事業期間	平成31年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	第2次熊谷市総合振興計画後期基本計画、環境基本計画、熊谷市電気自動車充給電設備設置費補助				
課題・分析	国が電気自動車の普及を推進しており、今後も本市の補助金申請も増加していくものと思われる。				

【事業分析】

対象	電気自動車充給電設備を新たに設置した市民
目的	電気自動車を蓄電池として住宅から充給電できる設備を設置することにより、節電効果や、非常時の電源として活用することができる。
手段	電気自動車充給電設備を設置する市民に対して補助金を交付する
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	1,594	1,517	750	750	0	0	0
事業費	600	384	750	750	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	600	384	750	750	0	0	0
人件費計	994	1,133	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.13	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-57-01-00-00	「温暖化対策」電気自動車充給電設備普及推進事業	環境部環境政策課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3010000　環境部環境政策課
短縮番号　01674　「温暖化対策」電気自動車充給電設備普及推進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
充給電設備補助金交付件数	件	12.00	15.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		12.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			